



STEVEN JOHANKNECHT

スティーヴン・ヨハンクネクト
ニューヨーク在住。GARRETT NYでディス



ROMAN ALONSO

ロマン・アロソ
ニューヨーク在住。GARRETT NYでディス



PAMELA SHAMSHIRI

パメラ・シャムシリ
ハンドメイド作家。イベント会社を設立。
インスタレーションやイベント会社を設立。
映画のプロダクションデザイナーにも関わっていた。



RAMIN SHAMSHIRI

ラミン・シャムシリ
インスタレーションアーティスト。広告のとして活動した後、
イベント会社を設立。マネージングに携わってきた。

we are commune

注目を集めまるLAのデザイナーグループの全貌。

ハームスプリングスの(Ace Hotel)、LAの(Health Ceramics)、東京の(Opening Ceremony)などなど、
話題のリテラルデザインでよく耳にする「commune」という名前。コミュニティで誰?何をやっている人?

photo: Yoko Takahashi (p.154~p.167, p.170~p.173) text: Hitoshi Okamoto coordination: Aya Muhi

MAY 2010 Case 164



コミニーン
所を意識したという想いがデザイン入口(左)。

やわらかな“共同体”的
はじまりの物語。

2004年1月10日(日)、ロサンゼルス
のシカゴから4ヶ月の間女性編集者たる「ス
トーリーハウス」にて開催された「世界最初
のヨーロピアン」が開幕。翌日は「アートロ
ーム」にて開幕式が開催され、ローラン・ラ
ムバは「自分の肌を含むすべてのアーティスト
が参加する」ステージでパフォーマンスを行
った。彼女は「自分たちはアーティストたちの
ために活動している」と、アーティストたち
同じ希望を持った人々のため、世界を取り持つ
つもりで、ローラン・ラムバがシナジーする。
結果、その夜の会場は終わるまでに満席。4
人は一晩に参戦を終り10日間も満喫した。
会社の名前は「ローラン・ラムバ」だ。ローラン
・ラムバは知識とは経験より余裕がおあり。そ
れは頭よりよりも心から出る。4人は
必ずしも偉い人だ。彼らが象徴する文化をアーティ
ストの世界から世界へとつなげよう。それは世界
への世界を繋ぐことで、問題を認識した。
「アーティストやアーティストたちが、ローラン・ラ
ムバについての興味や面白さから」。やる事をや
れる存在になる事になり、それが何より世界はか
ら離れない。そこから世界が繋がる。

CASE MAY 2010



個性と関係性のバランスがとれた
コミューンの仕事が生まれる空間。

それぞれ得意分野を持つ4人のディレクターが集まって作ったのは
みんながリーダーでもあり良き助言者でもある、おおらかな会社。



事務所中央の吹き抜け部分。本来は天窓から
光が降り注ぐスペースだが、この日は荒天の
ため暗い。手前にあるテーブルにディスプレ
イされているのは商品。(p.173参照)。



1 右側の壁上部にレールが渡してあり、現在、彼らが関わっているプロジェクトのイメージボードはそこにフックでかける。2 ボードには切り抜きや、実際に使うファブリックの見本などがビンで留められている。3 吹き抜けの2階から階下を望む。左にある商品棚も、プロジェクトの大きさで人数が増えれば、ワーキングデスクとして使用する。4 2階、右側の廊下の右側にバーマ、ロマーン、スティーヴンの個室、そして左側奥にラミー（と愛犬ファウスト）の部屋がある。p.164～p.165のポートレーは各自の部屋で撮影したものの。5 壁に直に書き込める進行表。6 1階奥のライブラリースペース。インテリアデザインに使う素材見本が数多く備えている。

OFFICE

アイデアを体になじませる。

ミューンのオフィスを司っているのは壁とボードとビンだ。2階の打ち合わせスペースの壁は、プロジェクトの進行表。パートナーと呼ばれる創立者の4人（スティーヴン、ロマーン、バーマ、ラミー）のほかに、社員スタッフが8名、そしてプロジェクトごとにフレーランスのスタッフが数名ずつ加わり、店舗の設計や内装、個人宅のインテリアデザイン、キャベンのグラフィックデザインなど、複数の仕事が並行して進む。進捗具合が一目でわかるこの壁は、直接、文字を書いたり消したりできるようになっていた。

we are commune
ザインに対して冷静で公平な目を



we are
commune



WORKS

空間デザインだけで終わらない。

5・6

Belfast

ハリウッドにある個人住宅のデザイン。持ち主は若い洋服デザイナー。伝統的なコロニアル様式の家に、ロックンロールにインスピレーションを受けた内装を施す。

3・4

AMMO

2004年にコミュニティがスタートして、いちばん最初に手がけた仕事。ハリウッドにあるカリフォルニア・キュイジーヌのレストラン&バー。<http://www.ammocafe.com>

1・2

Catalina

ロスフェリスにある個人住宅。スペイン様式の家のリモデルとインテリアの取り扱いとデザインを担当。インテリアデザインはパメラ・ロマーンはプロダクト開発、パメラはレストランやホテルや個人宅のインテリアデザイン、そしてラ

依頼主のアイデンティティーを、その人の持っている空間や、印刷物、ロゴなど、可能なすべてのコミュニケーション手段で表現することを補佐する組織にしよう。4人のパートナーが一緒に仕事をする決心をしたとき、少なくともしにはそんな役割を担える会社はまだ存在していなかった。

建築家はプロジェクトごとに外注するが、4人全員がデザイナー／クリエイティブディレクターだ

から、最初から最後まで何でもデザインできるのが彼らの強みだ。ステークavnは店舗デザイン、ロマーンはプロダクト開発、パメラはレストランやホテルや個人宅のインテリアデザイン、そしてラ

依頼主には、コミュニケーションを雇うと4つの脳みそがついてきますとよく説明するんですけど、それぞれが一緒に関わるのだそうだ。

ミーンはすべての部門のマネージングと、それぞれの役割を持ついる。だが、ステークavnによれば、どの仕事も共同制作者として知識を持ち寄ることができるから、膨らみが出るんです」

メリットは依頼主にあるだけではなく、自分たちにあるとパメラは言う。「方向性がずれていないかどうか、パートナーの意見は重要な判断基準です。同じプロジェクトにどっぷり浸かっていると、堂々巡りが始まる。そこから引き

出してくれる数世主の役割も果たしてくれます」
4人のうちの誰かの仕事ではあるけれど、同じマインドを持つパートナーたちが常にそばにいることが、彼らの仕事を明快なものにしていく。そして、新しい仲間の発見にもつながっている。アルマ・アレンやアダム・シルヴァーマンなどのアーティストを、内装やオリジナルブロダクト制作に巻き込んでいくのも、彼らの得意とするところだ。ステイリングが内装をデザインした「ハリウッド・トレーディングカンパニー」という店のドアノブは、ロマーンの古い知人であったアルマ・アレンが制作した。「僕らはみんな手で作ら

line (機会と地平線)」だそうだ。



れた優れたものが大好き。常にそれを探しています。実際に手に取ることもある。本で見るということもある。ほかのパートナーにも見せて、みんなが気に入ると、自分たちのチームの一員になつてもらうというわけです。カリフォルニアには優秀な職人仕事がたくさんありますから

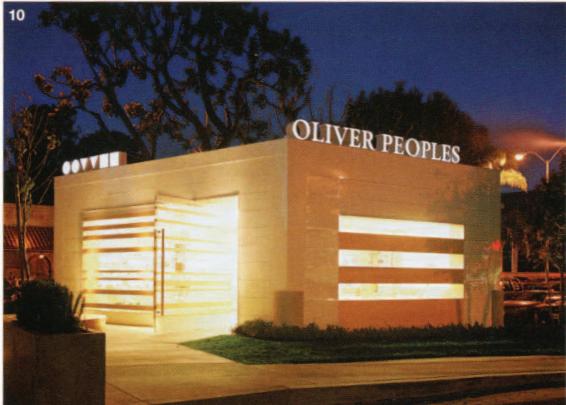
彼らのカリフォルニアへの思いは強い。もしニューヨークを拠点にしていたら、コミュニケーションがこのような形で存在できたとは思えないともまで言う。最後にバメラに聞いてみた。では、ニューヨークになくてロサンゼルスにあるものは何か。「Opportunity and horizon」だそうだ。

8・9 Juicy London

《ジューシー・キューブル》のロンドン・フラッグシップストアの店舗デザイン。冒険心のある英国式マンションをテーマにした。<http://www.juicycouture.com>

7 Hollywood Loft

ハリウッドのロフト。アートコレクターである施主のためのインテリアデザイン。個人住宅の場合、特に相手がどんな人物かを理解するのが何より重要なこと。



11・12

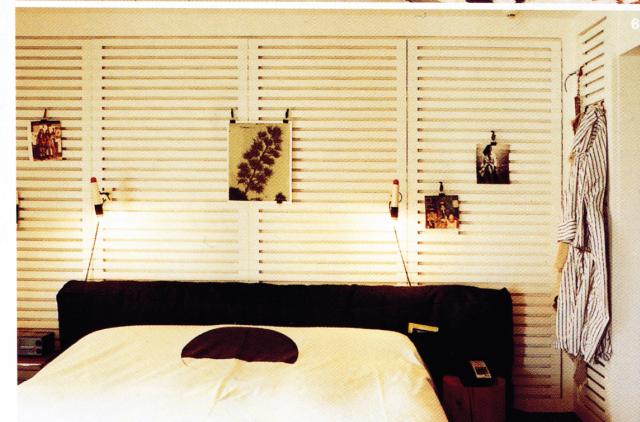
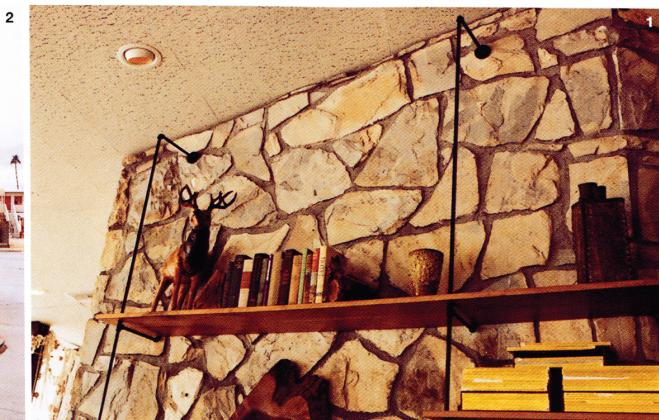
Opening Ceremony

昨年の夏に渋谷にオープンした《オープニング・セレモニー》東京店の店舗デザイン。旅、ファンタジー、不思議の国のアリスをテーマに展開した異次元の世界。

10

OLIVER PEOPLES

マリブにあるアイウェアの店《オリバー・ピープルズ》のフラッグシップストアの店舗デザイン。屋は自然光をたくさん取り込む設計。<http://www.oliverpeoples.com>



エースホテル & スイムクラブ パームスプリングス 1960年代に建てられた大型モーテルをリノベーションした、〈エースホテル〉にとって初めてのリゾートホテルである。http://www.acehotel.com/palm springs

1 フロントはマントルピースや飾り棚など設えてあり、個人家の居間のようでもある。

2 ホテルのエントランス。3 床に敷かれているのはホースブランケットをカスタムしたも

の。4 プールの前にある2軒目の〈communi ty shop〉は、コミュニーンのオリジナル商品や、関連のアーティストの作品などを扱う店。アルマ・アレンとナンシー・ビアースのカップルが、店のディレクションに関わっている。

5 ホテルのメイニングダイニング(「King's High way」)の入口にはアダム・シルヴァーマン制作の陶器のランプシェードが使われていた。

6 滞在中に好きなように飾りつけるよう、クリップやフックが用意されている。

工
エースホテルのオーナーであるアレックス・カルダー・ウッドによれば、
コミュニーンの面々とは何年も前に知り合って、一緒に仕事ができる機会を、ずつとつながっていたのだそうだ。
「でも、知り合いだつたことが依頼の動機なのではなく、今回のプロジェクトで私が考えていた、『ガリフォルニア・ボヘミアン』とい
うテーマを、彼らコミュニーンがまさに実現していたからこそ、この企画が実現したのです」

すでにあるポートランドとシアトルのエースホテルで、ほかのデザイナーが表現してきたことを引き継ぎ、それを理解した上で、都

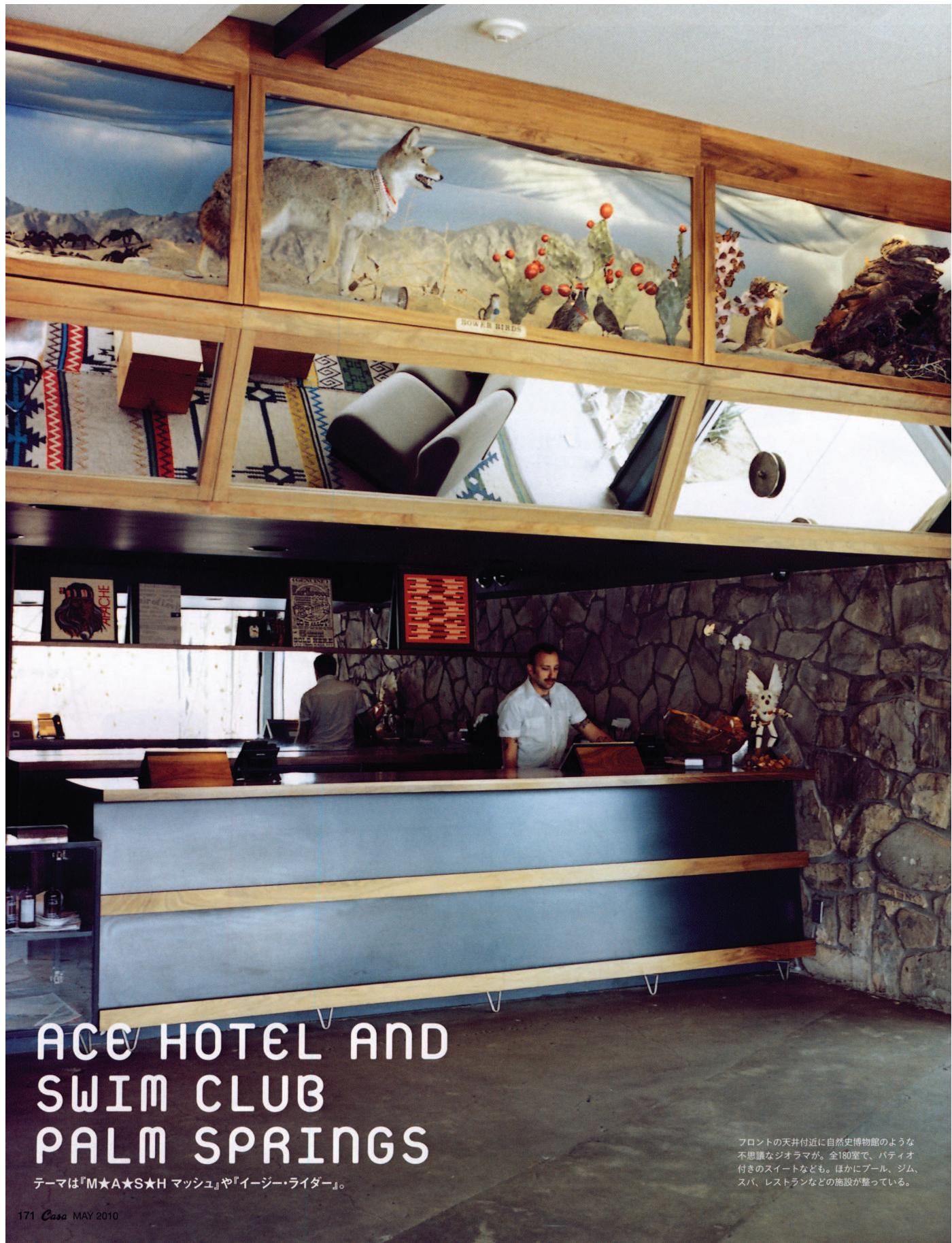
エースホテルのオーナーであるアレックス・カルダー・ウッドによれば、
コミュニーンの面々とは何年も前に知り合って、一緒に仕事ができる機会を、ずつとつながっていたのだそうだ。
「でも、知り合いだつたことが依頼の動機なのではなく、今回のプロジェクトで私が考えていた、『ガリフォルニア・ボヘミアン』とい
うテーマを、彼らコミュニーンがまさに実現していたからこそ、この企画が実現したのです」

市ではなく砂漠のリゾートにコミュニーンらしく展開するという命題に、コミュニーンが用意した解答は

 we are
commune

ホテル、アトリエ、ショップ、 コミュニーンの最近の仕事から。

クライアントからコミュニーンはどのように見えているかと、アーティストとの関係を深めていくショップ運営について。



ACE HOTEL AND SWIM CLUB PALM SPRINGS

テーマは『M★A★S★H マッシュ』や『イージー・ライダー』。

フロントの天井付近に自然史博物館のような不思議なジオラマが。全180室で、バティオ付きのスイートなども。ほかにプール、ジム、スパ、レストランなどの施設が整っている。



ヒースセラミックス 1948年に陶芸家／デザイナーのイーディス・ヒースによって創設された。工房は北カリフォルニアのサウザートにある。LA店は2008年12月にオープンした。
<http://www.heathceramics.com>

1 ベバリー・ブルバードに面した店内。ヒースセラミックスのディナーウェアなどフルラインが並んでいるほか、生活雑貨やギフト小物、書籍なども扱う。2 一般客の立ち入りはできないが、奥にはアダム・シルヴァーマンの工房がある。東京で2月末に開催された個展のための準備をしている時期の訪問にならったため、窯焼きを終えたばかりの器を窓から出しているところだった。3, 4, 5 スタジオマグとデザートボウル。ほかにも、ファッショングデザイナーのクリスティーナ・キムがディレクションした、パークレーのレストラン〈シェ・バニース〉のためのディナーセットなどもある。

HEATH CERAMICS

依頼主との新しい関係を築く。

ヒースセラミックスは、A店を作るにあたって、家のアダム・シルヴァーマンに任せた。店の内装を「コミュニーン」に依頼するのはどうかと提案したのはアダムだったそうだ。

「以前、彼らが僕の工房に器を賣にきてくれて以来のつきあい。ヒースのオーナーのキャシーとロビンも含めて、みんなで顔合わせをしたら、とてもいい感じで自然につながった。僕自身も、そしてキャシーもデザイナーだから、Aの店に入れない要素をはっきりと持つていて、誰を雇うにしても、こちらの考え方をきちんと理解してくれた上で、デザイナー側の美学

を押しつけない人が必要だったんだ

とともに別な店だった場所を、コミュニーンは通りに面した窓だけを残して、ほかはすべてリノベーションした。売り場の奥にアダムの工房とストックルームを作り、その中間の部分には小さなギャラリースペースも設けた。

「結局、彼らとは内装だけに終わらずに、その後もお互いの商品を扱ったり、彼らのショー（ヒースとアルマ・アレンのコラボ作品を発表）をここで開催したり、すこいい関係に発展したね」現在コミュニーンは4月オープン予定のサンフランシスコ・フェリープラザ店の内装を進めている。

**we are
commune**

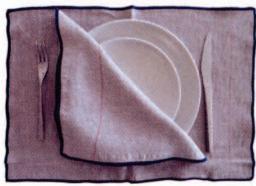


COMMUNITY SHOP

「あつたらいいな」を追求する。



3



4



5

関

わるプロジェクトを通じて、コミュニーンがこれまでに作ってきたオリジナルのプロダクトを販売する店が「COMMUNITY SHOP」だ。ロケーションは彼らの事務所の中。事務所の吹き抜けの中央部にテントが設営されていて、そのほかに陳列台がある。まわりでは、スタッフたちが普通に仕事をしているのが面白い。

「カスタム注文でいろいろものをプロジェクト」として作ってきました。自分たちにとって生活の中にはつたらしいなどいうものばかりだから、それを売る店をやりだったから、見てみるのも面白いと思つて始めたんです」とロマーン。

例えば「エースホテル」のために作った麻のブランケットやバスローブ、レザーのコースター。テーブルリンネンのシリーズは「ヒセラミックス」LA店のオーブンに合わせて作ったものだという。また、中には純粹にこの店のためのプロダクトとして生まれたものもある。

「友人の家でたまたま見かけたガラスのストローが面白かったので、商品として開発したり、そのための職人を探し過程で、オリジナルのガラスコップが生まれたりもしています」

アメリカで作られた手仕事のものをコンセプトに、今後もさらに充実させていく計画だそうだ。



173 Casa MAY 2010

COMMUNITY SHOP コミューンのオフィス内にある。火曜日と木曜日の午後2時から6時まで営業。アポイントメントが取れればほかの時間でも可能。☎(1)310-855-9098。
[http://www.commudedesign.com/shop](http://www.communedesign.com/shop)

1 テントの中にも商品が並んでいる。その向こうではスタッフが仕事中。手前のリネンがかかる黄色のバーは、2階へ上がる階段の手すりである。2 アルマ・アレンのウッドパウルやブロンズの彫刻、ビーズのアクセサリーなどが並ぶ陳列台。3, 4 《ヒセラミックス》のために開発されたテーブルリンネンのシリーズ。LAのダウンタウンにあるMatteoというメーカーにカスタム注文したもの。5 マリブのショップ(FREECITY)とのコラボ商品。コットン100%と麻100%の生地で作られたスリーピングバッグ。